

第1節

第1 消防用設備等（特殊消防用設備等）計画書

1 建基法第6条第1項及び建基法第18条第2項の規定による建築物の建築に関する確認の申請等をしようとする者（以下「建築主」という。）は、同意を行うに必要な書類として、消防用設備等（特殊消防用設備等）計画書を2部提出すること。◆

2 添付図書等

前記計画書に添付する図書は次によること。◆

ア 概要表（防火対象物及び各消防用設備等）

イ 附近見取図，配置図，面積計算書（無窓階（令第10条第1項第5号に定める階をいう。以下同じ。）判定計算書を含む。）

ウ 各階平面図

エ 立面図，断面図，矩計図

オ はり及び天井伏図

カ 建具配置図及び建具表

キ 室内仕上表

ク 空調及び衛生設備図

ケ 消防用設備等（特殊消防用設備等）の計画図

第3・(2)の着工届出書の添付図書等（防火対象物，製造所等の概要表を除く。）に準ずる。

ただし，アからキと重複する場合は，省略することができる。

なお，概要表のうち未確定の項目については，「未定」と記入することができる

3 計画の範囲

計画書は，建築確認申請等に係る建築物の全てに係るものを一括すること。◆

消 防 用 設 備 等 計 画 書

① 年 月 日

松江市消防長
② 殿

届出者住所
氏 名 ③
電 話
代理者住所
氏 名
電 話

所在地 ④ 市 区 町 丁目 番 号				
名 称 ⑤		主用途 ⑥		政令区分 ⑦
建 築 面 積	延 べ 面 積	階 数	敷地面積	工事種別
申 請 ⑧ m ²	m ²	B	⑪ m ²	⑫
既 存 ⑨ m ²	m ²	B	構 造	収容人員
計 ⑩ m ²	m ²	B	⑬	⑭ 名 () 世帯

消防用設備の概要 ⑮

消 火 設 備	警 報 設 備	避 難 設 備	そ の 他

棟 別 の 概 要 ⑯

	建 築 面 積	延 べ 面 積	階 数	用 途	消 防 用 設 備 等
1	m ²	m ²	B	⑰	⑱
2	m ²	m ²	B		
3	m ²	m ²	B		

受付欄 ⑲	経過及び備考欄 ⑳
----------	--------------

※備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とすること。

2 次の図書を添付すること。

- (1) 附近見取図、配置図、面積計算書 (2) 各階平面図
(3) 立面図、断面図、矩計図 (4) はり及び天井伏図
(5) 建具配置図及び建具表 (6) 室内仕上表
(7) 空調及び衛生設備図 (8) 消防用設備等の計画図

審査済欄

- ① 消防機関へ提出する日を記入する。
- ② 当該防火対象物の所在地の所轄消防長又は消防署長。
- ③ 建築主及び代理者の住所、氏名、電話を記入する。
- ④ 当該防火対象物の所在地を記入する。
- ⑤ 当該防火対象物の名称（決定していない場合は、仮称でもよい。）を記入する。
- ⑥ 当該防火対象物の主たる用途を記入する。……（例） 喫茶店
- ⑦ 令別表第 1 の該当する用途を記入する。……（例） (3)項口
- ⑧ 消防用設備等（特殊消防用設備等）が設置される棟の建築面積、延べ面積及び階数を記入する。
- ⑨ ⑧と同一棟となる既存棟がある場合は、その棟の建築面積、延べ面積及び階数を記入する。
- ⑩ ⑧のみの場合は、その数値を記入し、⑨がある場合は、⑧と⑨の合計を記入する。この場合、階数は高い方を記入する。
- ⑪ 敷地面積を記入する。
- ⑫ 新築、増築、改築、模様替え及び既存改修のいずれかを記入する。
- ⑬ 建築物の構造を記入する。
- ⑭ 規則第 1 条の 3 により算出した人員又は現収容人員を記入する。
- ⑮ 設置する消防用設備等（特殊消防用設備等）の種類をそれぞれの区分欄に記入する。この場合、既存のものは（ ）書きとする。
- ⑯ ⑧に掲げた防火対象物が複数となる場合は、棟数に⑧の例により記入し、4 棟以上となる場合は別紙を添付する。
- ⑰ 敷地内全体の用途ではなく、それぞれの棟ごとに令別表第 1 の該当する用途を記入する。
- ⑱ 棟ごとに設置される消防用設備等（特殊消防用設備等）の種類を記入する。
- ⑲⑳ 消防機関が記入するので空欄とする。